



公益財団法人 鳥取県国際交流財団

Tottori Prefectural International Exchange Foundation  
公益財団法人鳥取县国际交流财团

# とっとり国際通信

TOTTORI KOKUSAI TSUSHIN / 鸟取国际通讯

No. 122  
June, 2017



写真 鳥取大学新規留学生のオリエンテーション  
New Tottori University overseas students' orientation  
鳥取大学新的留学生的环境介绍

## 目次 Contents 目录

### TPIEFだより 02-03

- ・平成29年度 主な事業紹介
- ・平成29年度 賛助会員募集のご案内
- ・日本語クラス開催のお知らせ

特集  
「アメリカ・バーモント州との交流」 04-05

### 海外レポート 06

- ・私の視点からのベトナム紹介

### JICAデスクより 07

- ・中小企業海外展開支援事業

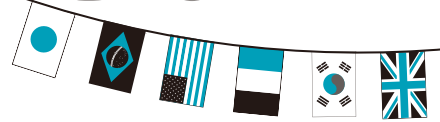
財団事務所から  
こんにちは!  
・第1回目 本所

### 英語版・中国語版ダイジェスト 08-09

- Information in English and Chinese 英文版・中文版文摘
- ・Japanese Language Class Information 日本語学习班的开班通知
- ・Greetings from Your TPIEF Office: Part 1: Main Office 財団事務所的问候! 第一回 本所

財団職員の来て見て台湾! 10  
ワールドレシピ 10  
・にんじんケーキ(ドイツ)

多文化共生の社会づくりを実現するため、県民の方の国際理解と地域の活性化に貢献する事業を行っていますが、平成29年度に取り組む主な事業を紹介します。



## 多文化共生ネットワーク推進事業

外国籍の人の定住化が進む中で、多様な文化を持つ人々が互いに尊重し合いながら生活していく地域づくりをめざして、外国出身者との意見交換の場として「多文化共生ネットワーク会議」を開催し、参加者が企画した事業を協働で行います。



▲ [左右] 昨年度 協働事業の様子

## 通訳ボランティアスキルアップ講座 NEW

平成30年～33年にかけて県内で国際的なスポーツ大会やキャンプが開催され、多くの外国人選手等が来県されることが予想されます。そこで、万全のおもてなしができる受入体制づくりのため、各競技の専門用語やスポーツ選手への対応心得を習得し、通訳のリーダーとなる人材の育成を行います。



## ジャマイカ交流紹介推進業務 NEW

2020年の東京オリンピック・パラリンピックに向け、ジャマイカのホストタウンとしての機運醸成を図るため、国際交流フェスティバル等にあわせてジャマイカの紹介やジャマイカ音楽のコンサートを行うほか、料理教室やワークショップなどジャマイカ文化等に触れる機会を作ります。



【公益財団法人 鳥取県国際交流財団】

## あなたもぜひ、賛助会員に!

当財団では、県民の皆様の幅広い支援・参加を得て、皆様とともに県民参加型の国際交流事業を進めていくため、趣旨に賛同して下さる賛助会員を広く募集しています。

国際交流に興味はあるけど何から始めればいいのか分からないとお悩みの方も、まずは当財団の賛助会員に!きっと楽しい世界が広がります。

皆様のご入会をお待ちしております!!

### 入会方法

財団の各事務所で入会を受付ています。また、公共施設にも申込用紙を置いてありますので、必要事項をご記入のうえ、お申し込みください。

### 【入会対象者と年会費】

個人会員	年会費 1口/	2,000円
学生会員 (高校生以下)	年会費 1口/	500円
団体会員	年会費 1口/	10,000円

※会員期間は、毎年4月1日から翌年の3月31日までです。※途中入会の場合、年会費は入会月に合わせて割引になります。

## 会員特典

- 特典1 財団機関紙(年4回)  
「とっとり国際通信」の送付
- 特典2 財団図書貸し出し増冊サービス
- 特典3 提携飲食店、観光施設等における割引などのサービス
- 特典4 提携旅行会社の  
パック商品等への優遇割引

※提携している飲食店、観光施設、旅行会社等とサービス内容については、ホームページに掲載しているほか、一覧表を機関紙とともにお送りします。

# 日本語クラス 開催のお知らせ

受講料 無料

財団の日本語クラスは、外国出身住民の日本語学習ニーズの増加に応えるため、平成14年度に開設しました。現在は、各地域で毎週日曜日と水曜日(倉吉事務所のみ)に実施しています。

今回は、各地域で行われている日本語クラスの様子やクラス運営の特徴を紹介します。

## 東部 多様な国籍の人が交流する場に

学習者のさまざまなニーズに応えるため、6段階7つのクラスを開設しており、留学生や外国出身配偶者、技能実習生、ビジネスパーソンなど多様な国籍や背景を持った方々が参加しています。クラスは日本語の勉強だけでなく、情報交換や友だちづくりの場としても機能しています。

平成27年度からは、新たに外国にルーツをもつ児童・生徒に対応した「子ども日本語コース」を開設しました。ここでは、日本語の発音や漢字、音読を中心とした学習や学校の宿題等の支援を行っています。また、休憩時間に入ると、子どもたちが自ら持参したトランプを使って“七並べ”をしたり、“かるたとり”といった日本ならではのゲームを楽しんでいます。学校も学年も異なる子どもたちが机を並べ、文化の違いにとまどいながらも助け合い、切磋琢磨していくことでどんどん成長していきます。その手助けができればと指導者は奮闘しています。



▲Cクラス(中級)

### 担当者からひとこと

講師やボランティア(日本語パートナー)の皆さんの熱意に支えられて成り立っています。受講者も増え、より多くの支えが必要になっています。活動を通じて「外国語としての日本語」に向き合うことで世界が広がります。関心をお持ちの方はぜひクラスをのぞいてみてください。お待ちしております。



て外国人のままになってしまいます。しっかりと日本語を学びたい。」と意気込みを語っていただきました。

### 担当者からひとこと

講師・ボランティア・学習者の方が、和気あいあいと楽しい雰囲気の中で熱心に勉強しています。どのクラスも“いつでも”“どなたでも”参加できますので、興味のある方はお越しください。



## 西部 新たなかたちでスタート

A(Step1)クラスとB(Step2)クラスを開催しています。Aクラスは講師の授業形式による基礎学習クラス、Bクラスは漢字や会話を中心に学習するクラスです。Bクラスは、今期から新たに少人数グループに分かれて、ボランティアとのグループ学習によって進める形態となりました。新しいかたちでスタートすることになった背景には、年々増加する学習希望者と多様化するレベルへの対応がありました。Bクラスは、約20名のボランティアの方々に支えられています。

学習者からは、「いろいろな国の人、日本人と出会えて嬉しい」「普段は自習なので、クラスではみんなとの会話練習が好き」といった感想を聞くことができました。



▲B(Step2)クラス

### 担当者からひとこと

学習者と支援者がお互い楽しみながら、対等な関係で学習・交流することを目指しています。学習者にとって講師やボランティアのサポートが励みとなり、継続して通う人が増えています。



## 中部 平日クラスも開催しています

水曜日クラスは、仕事や家庭の事情で日曜日クラスに参加できない方々のために開設しました。学習者の国籍は多岐にわたりますが、クラスが始まる時間が近づく、日本語で「こんにちは!」「元気だった?」と顔なじみならではの親しみある挨拶や会話が聞こえてきます。

クラスに通うデュンサーさん(ドイツ)は、「ここで生活していく以上は日本語が上手くできないと、いつまで経っても気持ちとし



▲水曜日クラス

## 共に暮らす社会へ

東部、中部、西部で開催されているクラスは、地域ごとのニーズに合わせるため、クラス運営のかたちはそれぞれ異なります。しかし、どのクラスにも共通してたくさんの笑顔がありました。

また、財団の日本語クラスには、学習者をサポートする講師やボランティアの皆さんの存在が欠かせません。鳥取県にいられた外国出身の方々が地域に溶け込みながら、生活者として共に暮らしていくための一助となるよう、これからも日本語クラスの充実を図っていききたいと思います。

## 【平成29年度 第1期スケジュール】

	東 部	中 部	西 部
期 間	4/2(日)~8/6(日) 毎週日曜日	4/12(水)~7/26(水) 毎週水曜日 4/9(日)~8/6(日) 毎週日曜日	4/16(日)~7/30(日) 毎週日曜日
受講料	無料(テキストを購入していただく場合があります)	無料	無料

※クラスごとの時間や場所、期間中のお休みなど詳細については、最寄りの事務所にお立ち寄りいただくか、財団ホームページをご覧ください。

## ~「日本語ボランティア研修会」(西部地区)のお知らせ~

日時 8月6日(日) 13:00~16:00

会場 米子コンベンションセンター5階 第4会議室

◎鳥取、倉吉は8月下旬に開催予定です。

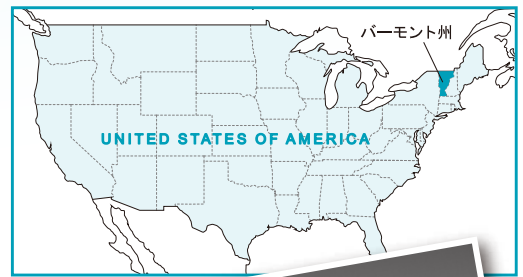


# アメリカ・バーモント州との交流

国際的視野を持った青少年の育成を図るため、県内の高校生をアメリカ・バーモント州へ派遣し、また、同州からの高校生を県内で受入れる相互交流事業「鳥取県・バーモント州青少年交流事業」を行っています。

## Q バーモント州ってどんなところ？

アメリカ北東部に位置し、カナダと国境を接する自然の美しい州。中心部にはグリーン・マウンテン山岳地帯が位置し、西部のニューヨーク州との境界には、シャンプレイン湖が南北に広がっています。特に秋の紅葉は美しく、冬はスキーやスノーボードなどのウィンタースポーツが楽しめます。また、日本でも人気のスノーボードメーカーBurton本社や、全米で大人気のアイスクリームBen& Jerry'sの本部があります。



人口：約62万人(全米49位)  
面積：23,960km<sup>2</sup>(全米45位)  
鳥取県の約7倍  
州都：モントピリア市  
最大の都市：バーリントン市  
(人口42,417人)

気候：年間平均気温は6℃  
※北海道の富良野と同じ緯度  
日本との時差：-14時間  
主な産業：酪農、観光業  
特産品：メープルシロップ  
(全米で最大)、リンゴ



▲州政府議事堂(モントピリア市)

## Q 交流事業の経緯は？

平成20年度に鳥取県とバーモント州が「国際親善に関する覚書」を締結。平成21年度に鳥取県が県内高校生をバーモント州へ派遣し、ホームステイをしながら環境をテーマとした研修を地元高校生と共同で研修する交流事業をはじめました。平成23年度には、鳥取県国際交流財団がこの事業が移管となり、平成28年度で

8回目の派遣をしたところ。また、平成25年度以降はバーモント州からも高校生が派遣されるようになり、鳥取県内でホームステイをしながら同じく環境を中心とした視察や学校交流、日本文化体験などを行っています。

## ●今年度の高校生受入れ事業を実施しました(4/24~30)●



▲来県人数：高校生9名、引率者4名(砂の美術館入口で記念撮影。今年のテーマは「アメリカ」です。)



▲平井知事を表敬訪問



▲鳥取東高校で柔道体験



▲鳥取東高校で書道の授業体験



▲鳥取湖陵高校で吟詠剣詩の舞部で刀を振る体験

### 県内での滞在スケジュール

- 1日目：鳥取砂丘砂の美術館、砂丘歩き、かにっこ館、  
知事表敬、歓迎会
- 2日目：視察(河原お城山展望台、恋山形駅、県農業試験場)、  
鳥取東高校で交流
- 3日目：視察(鳥取大学乾燥地研究センター、浦富海岸遊覧船)、  
鳥取湖陵高校で交流
- 4日目：視察(琴浦町の神崎神社と河本家住宅、米子水鳥  
公園、お菓子の壽城)
- 5日目：学校体験(ホームステイ先の高校生が通学する  
高校へ行き、1日を通して日本の高校を体験)
- 6日目~7日目：ホストファミリーと自由に過ごし、送別会

## 参加した高校生たちに 鳥取県の印象を聞きました!



ジェイソン・メールマンさん

鳥取県で受けた歓迎と礼儀の良さは、バーモントの受け入れ以上でした。

鳥取県に来て驚いたことは、自動販売機のすごさです!町のつくりも効率的でいいと思いました。

教育制度はアメリカとかなり異なっていたけど、参加するのは楽しかったです。鳥取湖陵高校で食べたいごははすごく美味しくて、今までで一番!

Jason Mailman

今回の滞在で一番良かったのは高校生の方々ととの交流です!こんなにいい人たちのおかげで、私たちの滞在が百倍楽しくなりました。ぜひまた会いたいです。



デヴィッド・ドリンクワインさん

鳥取県の印象は、お店がたくさんあって、人が親切だということです。文化にもとても興味を引かれました。鳥取県の人に出会って感じたことは、わざわざ手伝ってくれることが多いということです。とても嬉しかったです。

今回の滞在は本当に楽しかったです。帰国のときは悲しくなりました。

David Drinkwine

これから一生懸命に日本語を勉強して、次に来るときには日本語でコミュニケーションを取りたいです。どうもありがとうございました!



シドニー・トールさん

アメリカと違うと感じたことは食べ方でした。スープやご飯などを食べるときにはお椀を手に持つんですね。アメリカでは皿をずっとテーブルの上に置くので、違うと思いました。滞在中に出会った人が皆すごく優しく親切でした。もっと鳥取県に滞在したかった。また来ます!

Sydney Turer



キャメロン・フレミングさん

何でも小さいのが気に入りました!

鳥取県で出会った人は皆が親切に受け入れてくれました。

ぜひまた高校生の方々と会いたいです。

Kameron Fleming

お知らせ

## 派遣事業のお知らせ

アメリカ・バーモント州で現地の高校生と約1週間ともに過ごすプログラム。ホームステイをしながら、環境について研修するほか、高校の授業参加や大学の視察などの体験ができます。

派遣期間

平成29年10月20日(金)  
～11月7日(火)の間の12日間

※決定次第、各学校にお知らせします。

派遣人数

15名程度

対象

県内の高等学校及び高等専門学校に在籍する1、2年生

選考方法

応募者全員の面接(日本語及び英語による質問があります)を実施し、選考します。

選考会

7月2日(日)に実施します。

参加経費

渡航に係る往復航空券、米国内での移動に係る交通費等は当財団が負担します。

応募方法

学校からの推薦を受けて選考します。そのため、各学校で応募期間が異なりますので、ご注意ください!各校からの推薦は2名までです。「募集要領」をよく読み、事業概要、応募資格をよく理解した上で、通学している学校を通して応募してください。